

会員企業における人材育成と「eLPIT」利用



interview

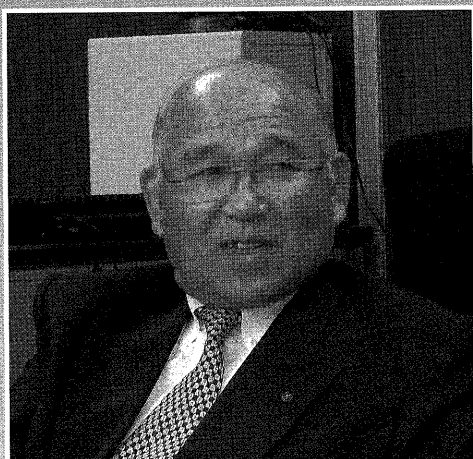
宮川電気通信工業(株)

eラーニングで学ぶ工事担任者養成課程

eLPIT®

工事担任者の資格取得への 近道「eLPIT」

苦にならない学習スタイルが魅力の「eラーニングシステム」



●宮川電気通信工業株式会社 代表取締役

みやかわ よしたけ

宮川 欣丈 氏

《プロフィール》

昭和41年4月 宮川電気通信工業(株)入社
千葉県内を中心に各企業にPBXおよびボタン電話
の設備工事と保守サービスの一体化した業務を
展開するとともに、社員の人材育成にも尽力

昭和46年4月 取締役

昭和52年4月 専務取締役

昭和63年9月 代表取締役就任

平成23年4月 電気通信産業功勞により黄綬褒章受賞

(現在 一般社団法人 情報通信設備協会 理事・関東地方本部 副本部長)



【聞き手】

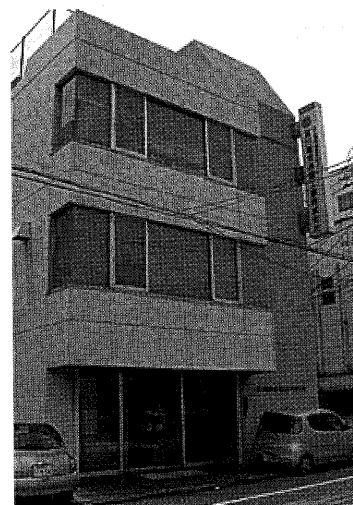
●一般財団法人 日本データ通信協会 専務理事

おおしま まさし

大島 正司

情報通信設備協会 (ITCA) では、平成24年4月1日～平成25年3月31日の間に「eLPIT」の受講を開始して資格を取得した会員企業（資格種別はAI・DD総合種またはDDI種）には、一人あたり2万円の助成（会員1社2名まで）を実施しています。また、eLPITは厚生労働省の教育訓練給付金制度の認定も受けていることから、要件を満たすことができれば、eLPIT受講者の受講料負担をかなり軽減することができます。

千葉県を中心に通信設備工事の分野で優れた実績を誇る宮川電気通信工業株式会社は、こうした助成金制度を積極的に活用することで、工事担任者の資格取得を奨励している企業の代表格です。そこで、今回は同社代表取締役の宮川欣丈氏に、eLPITをはじめとする技術教育の取組みについてお話を伺いました。



<http://www.miyakawadentsukou.co.jp/about/から引用>

1 PBXからスタート、現在はLAN関連を主軸に事業展開

大島 工事担任者の資格取得のためのeラーニングシステム「eLPIT」を受講して頂き、誠にありがとうございます。本日は、eLPITに対する評価と、貴社の人材育成についてお話を伺いたいと思います。まず、本題に入る前に、貴社の事業内容からご紹介頂けますか？

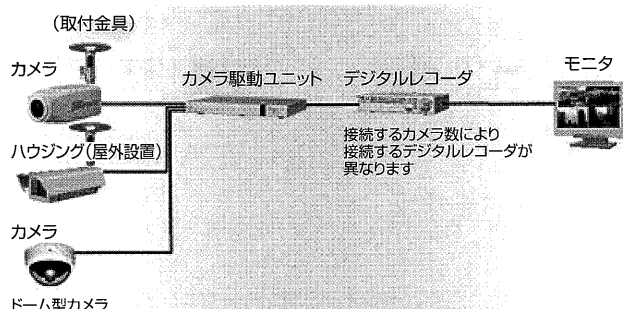
宮川 当社は、戦前に当時の通信省電話業者として交換機の工事を手掛けたのが始まりで、株式会社としてスタートしたのは昭和31年からです。

当初はPBX関連の工事が大半を占めていましたが、時代の移り変わりと共に受注工事の内容も変化し、現時点では、LAN関連の工事が大半を占めるようになりました。電電公社からの工事受注で事業が始まったのですが、今ではNTTの仕事は少なくなっています。

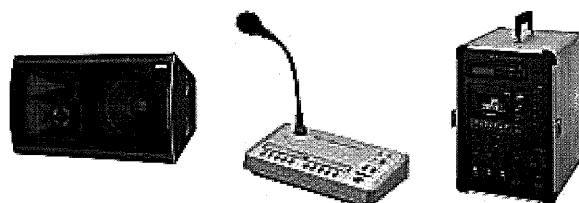
大島 LAN関連というと、具体的にはどのような事業内容になるのでしょうか？

宮川 まず、PBXの進化系としてのIP-PBXがあり、顧客の要望に合わせて音声だけでなくデータ通信やインターネット環境も整備します。もちろん、オフィスのLAN設備構築も手掛けており、新たにLAN設備の新設・更新を行う場合には、接続機器の手配、接続作業、ケーブル配線、ネットワーク構築など、顧客に最適なシステムの提案を行っています。

〈ビデオカメラシステム〉



〈音響・放送設備〉



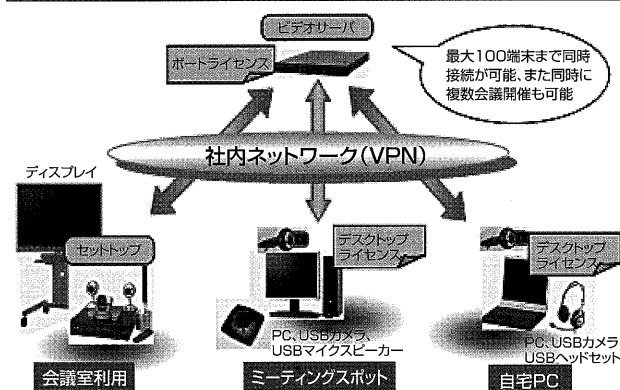
大島 一口にLANといっても、いろいろな適用分野があると思いますが、例えばどんなシステムを手掛けてこられましたか？

宮川 代表例をいくつか紹介すると、まず売上の向上や業務の合理化などに役立つビデオカメラシステムがあります。これを監視用カメラとして使うことで犯罪の抑制につながったり、商品管理あるいはサービスの向上にも利用できます。

宮川 また、自宅や出先からインターネット経由で手軽に会議に参加することができるビデオ会議システムの提案・構築も行っています。最新のビデオ会議システムは品質と操作性に優れていて、映像の乱れや

〈ビデオ会議システム〉

システム構成例



品名	用途	備考
ビデオサーバ	センタ設備	1Uラックマウントタイプ ^(※)
ポートライセンス	ビデオサーバに対する接続ライセンス	最大同時100端末まで接続可能
セットトップ	専用会議端末(本体、カメラ、マイク・スピーカーのセット)	ディスプレイが別途必要
デスクトップライセンス	PCインストール用ライセンス(ミーティングスポット自宅、海外拠点向け)	PC、USBカメラ、USBマイクスピーカーが別途必要

※50同時接続までは1サーバ、51～100同時接続は2サーバ構成となります。

音声の途切れもなく快適な環境で会議を開くことが可能です。

さらに、公共施設、ホール、展示スペース、ホテル、アミューズメント施設などの各場所に合う音響舞台設備の提案、販売、工事、施工、メンテナンスも行っています。

このほかにも、病院での構築事例として、病室からのナースコールをナースが携帯するPHSにて応答することができるシステムも手掛けてきました。

2 工事受注には人材育成が不可欠

大島 これだけ多岐にわたる分野に対応していくには技術教育が重要ですね。

宮川 当社には現在約30人の技術者が在籍していますが、人材育成には特に力をいれています。これを怠ると顧客やメーカーからの要求に応えることができなくなり、ビジネスチャンスを逃してしまうからです。毎月誰かしら1人はどこかの技術研修に参加している状況です。例えば、IP-PBXなどはブラックボックス化しており、技術研修を受けないとコマンドが分からず仕事にならなくなります。

大島 技術者の方々はどんな資格取得を目指しているのでしょうか？

宮川 工事担任者や電気通信主任技術者はもちろん、これ以外にも電気主任技術者や電気工事士、情報処理技術者、情報通信設備協会の技術資格認定制度（情報ネットワークプランナー）、シスコCCNAなどの民間資格などがあります。

工事担任者に関しては、お客様に資格者証を提示するようにしており、大手のお客様になるとお客様のほうから提示を求められるので、国家資格としての工事担任者資格は持っていないとなりません。この資格を取得すれば資格手当も支給され、ようやく1人前の技術者として扱われるようになるのです。

3 「eLPIT」で確実に国家資格を取得

大島 今回、貴社では2人の技術者の方々がeLPITで資格を取得されました。どのような理由からeLPITを選択して頂いたのでしょうか？

宮川 資格取得に当たっては、日頃から情報通信設備協会が主催する勉強会などに参加したりしているのですが、なかなかまとまった時間を取って勉強するチャンスがありません。そこで、いつでも好きなときに好きなだけ学習することができるeラーニングという学習スタイルが気に入りeLPITを選択しました。情報通信設備協会では1社2名まで、eLPITに対して助成金が支給されることから2名を受講させることにしました。

大島 今回受講された方々のうち、おひとは標準学習期間の8ヵ月よりも早い5ヵ月で合格されましたね。

宮川 そうです。eLPITはやる気になればいくらでも学習できるので、暇ができるとパソコンに向かうようになり、朝は早めに出勤して30分、夜は2～3時間は学習していたようです。

しかし、あまりにも早く合格した結果、厚生労働省の教育訓練給付金制度を利用することができなくなっていました。この制度を利用できると、受講料の20%が支給されるのですが、短期間で取得した場合には支給要件を満たさなくなるとのことでした。その理由としては、この制度は資格取得のためだけに時間を費やすことができない就労者のための制度であり、一定期間かかるのが自然の姿とのこと。単に合格すれば給付金がもらえるという趣旨の



制度ではないとの説明を受けました。本人の努力した様子を見ていただけない大変残念です。

大島 教育訓練給付金制度および助成金制度については、受講者の方々が円滑に利用することができるよう、eLPIT事務局でもしっかりサポートして参ります。

4 「eLPIT」への期待

大島 今後、日本データ通信協会およびeLPITにはどのようなことを期待されますか？

宮川 資格の必要な人には洩れなくeLPITを受講させたいと考えています。eLPITのように使いやすいeラーニングシステムなら、学習が苦になることはないでしょう。また、最近は無線LANなどが普及していることから無線に関するeラーニングシステムがあってもいいのではないのでしょうか。

宮川 最後にもう1つ、工事担任者の国家資格としての存在価値を高めていく努力をお願いします。建設業界では工事担任者は国家資格、つまり技術者として認められていないというのが現状です。郵政省の時代から建設業界においても国家資格として認めてもらうよう情報通信設備協会を通じて各省への陳情も行ってきましたが、なかなか前に進みません。日本データ通信協会においても国土交通省と総務省との間で調整・連携して頂ければ幸いです。

大島 ご指摘の部分は、建設業法での工事担任者の取り扱いに関するお話かと存じますが、これについては引き続き努力を重ねていきたいと考えております。

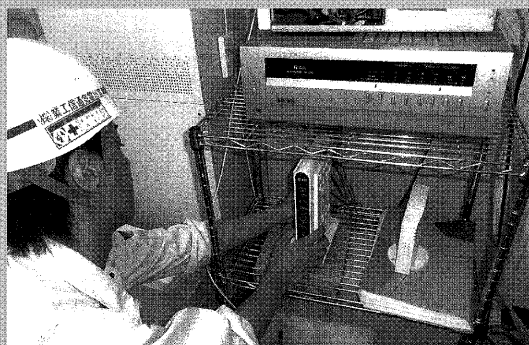
eLPITは平成24年度で7年目に入ったところで、総受講生は8000名を越えています。eLPITでは、教育担当者が受講生の学習進捗状況を確認できるよう管理機能を追加するなど、改善も行われています。今後も受講生の方々からのご意見を取り入れながら進化していきたいと思っております。本日はeLPIT受講に関連したお話、誠にありがとうございました。



交換機配線作業



交換機パッケージ搭載作業



ターミナルアダプター結線作業



光回線配電盤工事

宮川電気通信工業株式会社 会社概要

会社設立：昭和31年3月

資本金：5,000万円

従業員数：50名

所在地：〒260-0018 千葉県千葉市中央区院内1-2-1

TEL.043-225-1311(代表) FAX.043-222-1330

URL：<http://www.miyakawadentsukou.co.jp/access/>

沿革

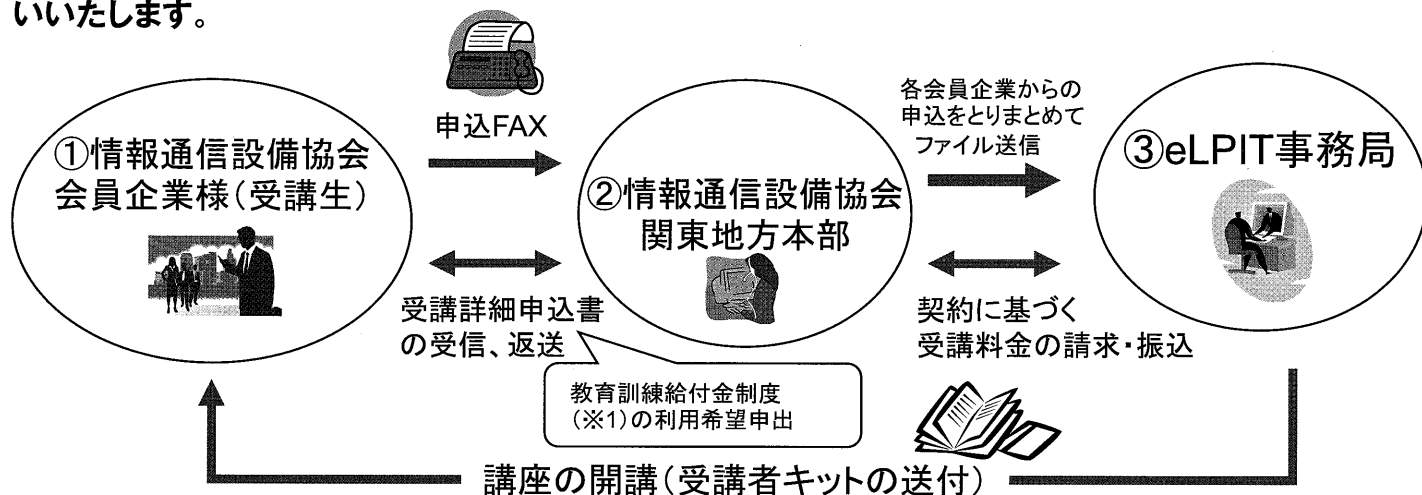
昭和15年1月	千葉市市場町121番地 東信電話工業所開設。
昭和16年6月	逓信省電話営業者公認。
昭和19年1月	企業整備命令、日本電話設備株式会社統合合併そのまま千葉営業所。
昭和25年5月1日	GHQ覚書により設備会社は逓信省に吸収され、全員、千葉電気通信管理所千葉電話局に奉職。後、逓信省は郵便及び電話に分離し電気通信省となり、さらに日本電信電話公社となる。(現在NTT)
昭和29年1月	千葉市院内68番地 宮川電気通信工業所開設
昭和31年3月27日	宮川電気通信工業株式会社に組織変更、資本金壹百万円
昭和31年8月15日	千葉県知事登録(に)第1269号、以来更新。現在に至る。
昭和33年7月31日	日本電信電話公社認定業者となり、以来更新。現在に至る。
昭和52年10月	㈱日立製作所特約店
昭和61年4月29日	代表取締役宮川真吉、電気通信産業功勞により黄綬褒章受賞。
昭和63年9月4日	宮川欣丈、代表取締役に就任。
昭和63年9月30日	資本金を五千万円に増資。
平成10年10月	千葉市優良工事表彰
平成11年7月	NTT東日本㈱と業務委託契約。
平成11年7月	NTTコミュニケーションズ㈱代理店
平成12年3月	㈱エヌ・ティ・ティ エムイーと業務委託契約。
平成14年10月	㈱日立コミュニケーションテクノロジー特約店
平成21年7月	㈱日立コミュニケーションテクノロジー・㈱日立製作所合併により ㈱日立製作所特約店
平成22年10月	千葉県優良工事表彰
平成23年4月29日	代表取締役宮川欣丈、電気通信産業功勞により黄綬褒章受賞。

eLPITへのお申込みについて

eLPITへの受講申込みは、下図のとおり設備協会会員企業様(①)で申込をとりまとめていただいた後、(一社)情報通信設備協会関東地方本部(②)を通してeLPIT事務局(③)に申込みを行ってください。

本誌内記載の「助成金制度」のご利用につきましては、別途申請が必要となります。

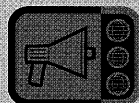
詳細につきましては情報通信設備協会(下記お申込みに関するお問い合わせ先)にお問い合わせをお願いいたします。



(※1) eLPITは教育訓練給付金制度の対象講座です。教育訓練給付金制度とは、雇用保険の給付制度です。労働者や離職者が自ら費用負担をして、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った経費の20%が修了後に支給されます。(但し、支給要件を満たす場合に限りです。)

eLPITでは、AI・DD総合種3科目／2科目／1科目、DD第1種3科目／2科目／1科目、DD第2種3科目受講の各コースが指定講座です。

AI・DD総合種、DD第1種を受講される場合は、情報通信設備協会の助成金制度との併用も可能です。



情報通信設備協会における助成金制度について

助成対象：情報通信設備協会の会員企業において、平成24年4月1日～平成25年3月31日の間にeLPITの受講を開始し、資格を取得した者

助成金：一人あたり2万円(但し、一社につき2名まで)

対象資格：AI・DD総合種またはDD第1種

お申込みに関するお問い合わせ先

一般社団法人 情報通信設備協会 事務局
〒103-0025

東京都中央区日本橋茅場町2-17-7 第3大倉ビル

TEL: 03-5640-6508 FAX: 03-5640-6599



E-mail: kanto@itca.or.jp



URL: <http://www.itca.or.jp>



eLPITについては、情報通信設備協会のホームページでもご紹介しております。

<eLPIT研修について> <http://www.itca.or.jp/certification/elpit.html>

工事担任者養成課程eLPITは eラーニングで国家資格取得まで導きます

eLPIT(e-Learning Professional education for Installation Technicianの略)は通常の通信教育とは異なり、国家資格取得まで一本化した我が国初の試みによる養成課程です。自分の立てたスケジュールに沿って学習を行い、学習終了後は全国約150カ所の試験会場で修了試験を受験することができます。



eLPITの特徴

- 1 いつでも、どこでも、
PCとインターネットがあれば
学習可能！
- 2 自分のスケジュールに沿った
学習と受験ができるので、
やる気次第で短期合格も！
- 3 工事担任者に必要な知識が
体系化された
カリキュラム教材が充実！

■本冊子について、及びeLPITに関するお問い合わせは■

一般財団法人日本データ通信協会 eLPIT事務局

※お申込みにつきましては、(一社)情報通信設備協会にお問い合わせください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| (1) 教務課(学習内容、学習状況等学習に関するお問い合わせ) | : 03-5907-3806 |
| (2) システム・業務課(上記(1)以外の各種お問い合わせ) | : 03-5907-6169 |

e-Mail: elpit@dekyo.or.jp



事務局からの情報発信中！<eLPITナビ>: <http://www.elpitnavi.com/>



- ◆ネットワーク接続技術者工事担任者試験 ICTプロフェッショナル電気通信主任技術者試験
電気通信国家試験センター 03-5907-6556
- ◆情報通信事業分野のプライバシーマークの付与
プライバシーマーク審査部 03-5907-3809

本冊子の制作にあたり、一般社団法人情報通信設備協会関東地方本部様をはじめ、ご協力をいただきました皆様に深く感謝申し上げます。

発行所：一般財団法人日本データ通信協会 人材研修部

〒170-8585 東京都豊島区巣鴨2-11-1 巣鴨室町ビル6階



03-5907-6169